

## 1 【活動の趣旨】

本校は、「自育」「和協」「勤儉」を校訓に、また、「夢と笑顔いっぱい生き生き学ぶ笠縫の子」をめざす子ども像として、温かく協力的な地域の方々の支えを得ながら教育活動を進めている。地域の方との活動を進めていくにあたり、「栽培体験合校」「地域のひとと学ぶ合校」「読書推進合校」「地域安全・学校安全合校」の4つを柱に据え、それぞれの活動において地域の方々の指導や支援をいただき、実施している。

## 2 【特徴的な活動内容】

### ○栽培体験合校

3年生の総合的な学習の時間では、学区に居住されている「アオバナの先生」を招き、苗の植え方や世話の仕方を、実演を交えながら教えていただいた。子どもたちは先生の教えをしっかりと守って熱心に世話を続け、7月には多くの花が咲き、摘んだ花でハンカチを染める活動を行うことができた。



【栽培体験合校】

### ○地域のひとと学ぶ合校

6年生の総合的な学習の時間では、学区の伝統である「サンヤレ踊り」、「講踊り」、地域で生まれた日本画家の野添平米さんや横井金谷さんについて学ぶ機会を設けている。子どもたちは4つのグループに分かれ、地域に出向いて、話を聞いたり実演をしたりして学んでいる。単元のまとめとして、自分たちの学びを下学年に伝えている。



【地域のひとと学ぶ合校】

## 3 【実践に当たっての工夫】

地域の良さを感じたり学校や校区のことを詳しく調べたり、校区の人たちの生き方や温かさに触れたりするような活動を大切にしていきたいと考え、教科等との連携をふまえ、活動を仕組んでいる。

## 4 【事業の成果】

コーディネーターの方をはじめ、継続してボランティア活動に取り組んでいただいている方が多く、教員以上に活動を把握されており、主だった活動にスムーズに取り組むことができている。また、進んでアイデアを出していただくこともあり、地域の子どもの育ちに自分たちも積極的に関わっていこうとされる方も見られるようになってきた。

## 5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

継続してボランティア活動に取り組んでいただく方が多いものの、一方で新たな人材を見出していくことが課題である。その上で、コーディネーターとの連携が大変重要であるが、現状はコーディネーターに任せきりになっている。今後は、連携を密にして人材の発掘に努めていきたい。